

藍住町 議会だより

第119号

2024(令和6)年11月25日

藍住町議会
ホームページ

(アドレス)

<https://www.town.aizumi.lg.jp/gikai/>



最優秀賞
作品

藍住西小学校 4年 岡田 幸亜

藍住町議会夏休み絵画コンクール

～未来の藍住町～

9月定例会

令和5年度一般会計・特別会計決算認定 … P.3

常任委員会 ～主な質疑～ … P.4～5

一般質問 ～町政のここが聞きたい～ … P.6～10

藍住町議会夏休み絵画コンクール入賞者 … P.13

議会のうごき・わたしの一言 … P.14

9月定例会

9月議会定例会が9月3日から19日までの17日間の会期で開会され、次の議案について審議しました。
一般質問では5人の議員が登壇し、町政について質問しました。

～町長提案～

●令和5年度藍住町一般会計歳入歳出決算の認定	可	決
●令和5年度藍住町特別会計(国民健康保険事業)歳入歳出決算の認定	可	決
●令和5年度藍住町特別会計(介護保険事業)歳入歳出決算の認定	可	決
●令和5年度藍住町特別会計(介護サービス事業)歳入歳出決算の認定	可	決
●令和5年度藍住町特別会計(後期高齢者医療事業)歳入歳出決算の認定	可	決
●令和5年度藍住町水道事業会計利益の処分及び歳入歳出決算の認定	可	決
●令和5年度藍住町下水道事業会計歳入歳出決算の認定	可	決
●令和6年度藍住町一般会計補正予算	可	決
●令和6年度藍住町特別会計(国民健康保険事業)補正予算	可	決
●藍住町国民健康保険条例の一部改正	可	決
●藍住町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可	決
●徳島県後期高齢者医療広域連合規約の変更	可	決
●藍住町教育委員会委員任命の同意	筒井あけみ氏	
●藍住町教育委員会委員任命の同意	竹内郁夫氏	
●藍住町教育委員会委員任命の同意	森奥典子氏	
●固定資産評価審査委員会委員選任の同意	安宅恒夫氏	

～議員提案～

●刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書	可	決
●議員派遣の件について	可	決

～諮問～

●人権擁護委員候補者の推薦	近藤草子氏	
---------------	-------	--

～報告～

- 令和5年度財政健全化判断比率の報告
- 令和5年度水道事業会計資金不足比率の報告
- 令和5年度下水道事業会計資金不足比率の報告

端数処理により、誤差が生じる場合があります。

区 分		歳 入 額	歳 出 額	継続費通次繰越・繰越明許費	実質収支額
一 般 会 計		130億2,228万円	120億8,621万円	6,902万円	8億6,705万円
特別会計	国民健康保険事業	34億2,005万円	33億1,095万円	0円	1億910万円
	介護保険事業	30億959万円	27億8,159万円	0円	2億2,800万円
	介護サービス事業	1,198万円	1,168万円	0円	30万円
	後期高齢者医療事業	4億6,582万円	4億5,268万円	0円	1,314万円

区 分		収 入 総 額	支 出 総 額	収益的収支純利益(消費税調整後) および資本的収支不足額
水道事業会計	収益的収支	5億3,796万円	4億9,296万円	3,760万円
	資本的収支	868万円	1億3,720万円	※△1億2,852万円
下水道事業会計	収益的収支	3億8,803万円	3億4,188万円	4,440万円
	資本的収支	2億3,989万円	3億1,977万円	※△7,989万円

※水道事業・下水道事業の資本的収支不足額については、内部留保資金等で全額補填しました。



「刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書」を提出

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣

(内容) 罪を犯していない人が、犯罪者として法による制裁を受ける冤罪は、その人の人生を破壊し、人格を否定すると同時に、法制度自体の正当性を失わせるものです。

冤罪はあってはなりません、後を絶ちません。

袴田事件では、静岡地裁の再審開始決定に対して検察が不服申し立てをしたことによって再審開始が確定するまで9年の歳月が浪費され救済が遅れました。こうしたことを繰り返さないためには、法的な制限を加える必要があります。

再審法制における証拠開示制度の確立、検察官の上訴制限が焦眉の課題であり、誤った有罪判決を受けている無辜の者を迅速に救済するために、下記のとおり再審法の改正をおこなうよう強く求めます。

記

- 1 再審請求人の求めに対し、検察が有する証拠の全面開示を法整備すること。
- 2 再審開始決定に対する検察の不服申し立て(上訴)がいたずらにおこなわれることのないよう制限を加えること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年第2回臨時会

10月25日開催の臨時会において次の議案が上程され、可決しました。

- 令和6年度藍住町一般会計補正予算の専決処分の報告と承認……………可 決
歳入歳出それぞれ1,300万円増額し、予算総額を131億2,300万円とする。
- 物品の買入れの追認について……………可 決
- 物品の買入れの追認について……………可 決
- 物品の買入れの追認について……………可 決
- 物品の買入れの追認について……………可 決

常任委員会 主な質疑

9月定例会の議案については、その審査を各常任委員会に付託しました。
各委員会において審査した結果、それぞれ全会一致で原案可決され、最終日に各委員長から審査結果の報告がありました。主な質疑・意見については次のとおりです。

厚生常任委員会

委員長 永浜 浩幸

令和5年度 一般会計決算

〔放課後児童クラブ事業〕

問 委託料の不用額が1100万円となっていることについて。

答 当初、出されてきた計画表に基づいて支払っている。実績により金額が低くなった。

問 工事請負費の不用額161万円の理由は。

答 東中富児童館の防水工事について、国の補助金をもらうために次の年に実施することに決定した。

〔保育所総務費〕

問 不用額、300万円は多すぎるのでは。

答 できるだけ節約してもらいうように話をしており、そのために出てきた不用額なのかと考えている。

令和5年度 特別会計決算

〔国民健康保険事業〕

問 国民健康保険税の医療給付費現年課税分の滞納額について、ほかの市町村と比べてどのような状況か。

答 同程度と認識している。

問 医療給付費分滞納繰越分の未収が約5200万円。現年度が2100万円の滞納で、過年度を含めて7300万円の滞納額があるということになるかと思うが、昨年の滞納の調定額とほぼ同じか少し増えたという認識でよいのか。

答 そのとおり。

問 特定健康診査等事業費の需用費170万円が不用額となっていることについて。

答 様々な経費を見込んでいたが、最終この金額しか支出がなかった。

〔介護保険事業〕

問 生活支援体制整備事業について、今年は生活支援サポーターを導入しているが、昨年と同じ300万円の予算で賄えるのか。

答 支出する費目としては同じところで支出をさせていたと予定である。

問 需用費の不用額が多いのではないか。

答 予算の計算は、令和7年度の当初予算のときも含め、精査して計上させていきたい。

建設産業常任委員会

委員長 前田 晃良

令和5年度 一般会計決算

〔住宅使用料〕

問 令和5年度の悪質滞納者の強制退去者数と本人の意思による退去件数は。

答 強制退去が2件、本人の意思による退去が10件。

問 収入未済額が6826万5215円とあるが、強制退去をされた方への対応は。

答 収納の見込みがない滞納分については、債権管理委員会などで不能欠損ができないか検討していきたい。

問 悪質な滞納者に対してどういうふうな納付指導をしているのか。

答 委任した顧問弁護士から通知し、使用料滞納分の納付及び町営住宅明渡しを求めている。

令和5年度 水道事業会計決算

〔未収金〕

問 流動資産の未収金1682万7574円のうち、水道料金未収金はいくらか。

答 令和6年3月31日現在で1639万3574円。

〔給水停止件数〕

問 令和5年度で何件あったか。

答 文書発送延べ66件のうち、停止実施は12件。

〔配水施設工事〕

問 工事が5件あり、全て12月以降の工事となっているが、何故この時期になるのか、またこの時期より前倒しにできないのか。

答 稲作が大体9月の中から下旬まで行われており、その間は、田に水が入っているため、道路を掘る場合、水が出てしまう。そういった理由や、雨や台風がおさった頃に工事をするということもあり、この時期になってしまふ。

〔配水管布設工事〕

問 国からの補助金があると聞いているが本町の補助金の活用状況は。

答 本町の水道事業が採択される基準に合致するメニューは、現在ないため、補助

金を受けられない状況である。

〔令和5年度水道事業損益計算書〕

問 当年度純利益が約3700万あるが、これを使って、翌年度に水道の耐震化を図ってもらえないか。

答 大きな災害に見舞われても安心安全な水の供給をする必要があり、そのためには資金が必要になってくるため、全ての利益分を事業につぎ込むのは適当でないと考えている。

問 現在でも10億円の剰余金があると明記してあるが、仮にこの中から、3000万円を耐震化に図れば、今年と同等、もしくは令和5年度より少し短くはなるが、配水管の布設工事ができるのでは。

答 令和6年度予算においても、耐震化への布設替え工事の予算として、材料費込みで1億円程度を計上している。利益とは別に毎年1億円程度、計上して執行をしている。



委員会風景

総務文教常任委員会

委員長 森 伸二

令和5年度 一般会計決算

〔滞納率〕

問 町民税個人現年課税分について、近隣市町村や他町村に比べて多いのか、少ないのか。また、国民健康保険税との差は。

答 県内の中では中の上ぐらいの位置にある。国民健康保険は、雇われていない方の率が高い保険であるので、相対的に納付能力が低くなり、滞納率が高い結果となるという認識。

〔町債〕

問 緊急防災・減災事業債として当初予算は6650万円計上され、補正予算で6650万円減額になっていることについて。

答 防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債を財源として改めて計上した。

〔交通安全対策費〕

問 150万円当初予算より増額されているが、どのようなものに使われたのか。

答 ヘルメットの助成金及びそれ以外の補助となっている。

〔災害対策費〕

問 補正予算額マイナス585万9000円の補正について。

答 被災者支援システム導入のための予算であり、システム導入段階でいくつかの新しいシステムが開発され、調査・研究した上で改めてシステム導入を図りたいと考えたため。

〔学校総務費〕

問 工事請負費が7640万円の予算で支出が1822万円、繰越が900万円、不用額が4923万円となっているが何の工事を予定していたのか。

答 東中学校体育館の床の改修工事を予定していたところ、設計業務に取りかかったところ、当初予算に計上していた金額を大きく上回る資金が必要となった。また、工事期間が夏休みを利用する予定であったため、当該年度の実施が難しく、翌年度以降に見送ることとなっている。

問 小学校や中学校の管理費で100万円以上不用額が残っており、7つ合計で1000万円を超えていることについて。

答 水道や電気代などや経常的な修繕費も含まれており、近年の電気代の高騰を見越して、年度の途中で不足することのないように少し多めに予算計上をしていた。また、突発的な修繕がなければ、不用額として残っている学校もある。

〔外国語教育支援事業〕

問 英語検定料補助が71件となっているが藍住中学校、藍住東中学校以外の生徒の分もこの中には含まれているのか。

答 現在は町立中学校に通う生徒と限定しているため、藍住中学校と藍住東中学校の生徒のみである。

問 令和6年度の受験に係り、生徒たちの指導はしているのか。

答 中学校の学校長に、書面配布するだけではなく、すぐる等でも保護者に周知したり、教員からもその旨を指導していくというふうなことを伝え、英検を受ける意欲を高めてほしいと指示している。

〔赤ちゃん先生クラス実施事業〕

問 何年ぐらい実施してきたのか。

答 平成28年度から実施。

問 今年、やめている理由について。

答 やめたわけではなく再検討をしている。

〔災害用備蓄品整備事業〕

問 令和5年度の購入の実績があるが、どこに備蓄をされているのか。

答 矢上にある防災備蓄倉庫と小中学校に設置してある防災倉庫にそれぞれ適当な数を備蓄している。

問 倉庫を増やしていく考えはあるのか。

答 今年度、予算計上している防災関係施設の用地費等であるが、その防災関連施設についても備蓄機能を持たせる予定にしているため、将来的には備蓄をする方向で検討している。

問 笠木と徳命の交番の跡地を備蓄倉庫として確保していくべきでないか。

答 西交番は、敷地が備蓄倉庫に向いているかというところと少し無理があると思う。東交番は、アスベストが入っているため、撤去して消防の駐車場というようなことを、今、検討している。

〔住宅耐震化推進事業費〕

問 具体的にどのような計画か。

答 木造住宅耐震改修補助金、耐震改修工事に係る補助金が現行最大100万円であるが倍増し、国、県、町入れて合計200万円の補助制度に改めさせていただく。

問 周知について。

答 補正予算成立後は、いろいろな方法で周知を図っていくつもりである。

〔藍染普及事業〕

問 藍の館の歴史への学び、藍染め体験などの訪日観光ツアーの参加者について。

答 大体3600人ぐらいの方が海外から来られた。

令和6年度 一般会計補正予算

問 備蓄倉庫をどこに設置するのか。

答 桜づつみ公園東側のパーベキューエリアの備品等の倉庫の横を予定している。

問 どういう物を入れる予定か。

答 災害関連の備品など。

問 仮設トイレの購入計画について。

答 計画的に簡易トイレなどを備蓄するようにしている。





に い じゅんいち
新居 純一 議員



9月議会会議録

ふるさと納税について

今後適切に精査を重ねて拡充につなげたい

問 子ども・子育て支援事業への寄附金のうち10%をこども食堂へ助成してはどうか。

答 そういったことも考えていきたい。

問 返礼品に藍の館での藍染体験と奥村家住宅での本膳料理の食事体験を加えたらどうか。

答 藍の館を活用した旅行商品は、価格設定ができていないため、現在のところ活用することはできない。今後、藍の館の指定管理者に働きかけたい。

第1回定例会質問事項の進捗確認について

検討を進めたい



藍の館での藍染体験

問 介護認定を受けている方へ、スポーツクラブ会員への助成金等について、現在の進捗状況は。

答 当該対象者が安全に運動できる環境が整っていると判断できない限り、助成要件の緩和は難しいと考えている。既存の介護予防事業の中から、受入れ可能な介護予防事業の検討を並行して進めている。

問 地震対策として、給水車の導入への情報収集について、現在の進捗状況は。

答 高額であること、普通運転免許で運転可能な車両、車種に制約があることが課題である。

給水車購入の補助金創設に向けた要望について、引き続き県等に働きかけていきたいと考えている。

問 千間堀の排水路対策として、町外分については、他自治体等との協議になることだったが、現在の進捗状況は。

答 北島町へ訪問し、北島町側の行政区域にある千間堀の現状について説明し、今後の状況に応じて連絡を取り合うこととした。その後、JR四国へ訪問し、同様の説明をし、勝瑞地区の冠水の解消に必要な除草、伐木の実施を要望した。

問 本町側での流下を阻害する樹木の伐採予定はいつ頃か。

答 千間堀は干満の影響を受けやすいため、渇水期の適切な時期に実施したいと考えている。

耐震性貯水槽設置について

他の手段同様に調査、検討していきたい

問 給水拠点から遠い指定避難所に耐震性貯水槽を設置し、飲み水を確保してほしい。

答 応急給水の方法は原則として拠点給水方式としている。第1浄水場には耐震性貯水槽を有しており、ここに臨時の給水栓を設置し給水。第1浄水場から各指定避難所へは、給水タンクを乗せたダンプカーで運搬し、給水することとしている。



おがわ ゆきひで 議員
小川 幸英



9月議会会議録

防災対策について

しっかり周知、啓発を行いたい

問 宮崎県で震度6弱の地震があり気象庁は南海トラフ地震情報を発表した。本町ではどのような対策をしたか。

答 直ちに防災時の初動体制の確認、各施設の設備等の確認などを実施。政府の特別な呼びかけが終了した日まで、職員が交代して24時間体制で対応に当たった。

問 災害時の避難対策等、要援護者への取組は。

答 要配慮者を含む町民の皆様に対し、日頃からの備えの再確認などを町ホームページ等を通じて行っている。

問 防災直後における一人暮らしの高齢者や障害者への取組は。

答 自ら避難することが難しい場合、個別避難計画の作成を推進している。

問 井戸水の活用について、市町村によっては避難所等で井戸を掘っている所もあるが本町の取組は。

答 有効に活用できるように体制を整えているところであり、今後はさらに登録数を増やしていきたいと考えている。



あいずみ防災フェス

高齢者障害者対策について

スムーズな運用が実施できるよう努めていきたい

問 障害者1、2級の方に対する補助金や助成制度等の周知はどのように行っているか。

答 個別対応を基本としている。該当の手帳を所持する方のみが助成対象となる場合、直接通知を行うことで、適切な事務処理ができるものと考えている。

問 家族介護慰労金支給について、本町でも支給を考慮しては。

答 事業実施は予定していない。

こども食堂についての公共機関への情報共有について

民間主導の活動についても情報の周知を適切に実施できるよう検討していきたい

問 情報を見やすいように、各団体の活動詳細がわかるカレンダーを作成し小中学校や学童施設などにポスター掲示の支援を申し出たところ、受け入れてもらえませんでした。そういった営利目的としては考えにくい様々な活動情報として出せる基準は。

答 公平性の確保という点から、国や地方公共団体、地方公共団体が委託をする事業実施者が主催、共催、後援となっている行事活動などの情報に限らせていただいている。

問 国や他の自治体においても特に情報周知については積極的な印象を受けるが、そういった中で本町の考えは。

答 子供たちの選択肢が増える情報の発信は、重要なことだと考えている。

問 活動支援のための財政上の措置に即した取組、新たな団体の参入可能性、公平公正な手続き等の確保と今後、民間団体とどのような取組をしていくのか。

答 それぞれの役割を保持した上で、子どもの居場所づくりを進めていきたい。



はやし しげる
林 茂 議員



9月議会会議録

ごみの収集業務の民間委託について

藍住町財政改革基本計画に基づき
現在検討している

問 6月定例会で河原副町長は、反問権を行使して、「まるで決定しているかのように断定をした内容で質問をされた根拠」を問われました。藍住町財政改革基本計画2020を策定し、町の民間委託の取組方針で「退職者不補充としている技能労務員については、令和2年度から8年度末までに10人が定年退職を迎えることから、業務体制の見直しが必要であり、職員の約8割を労務職員が占めている西クリンステーションにおけるごみ収集業務の民間委託について検討を進める」と述

べている。

- ①西クリンステーションの定年退職予定者で令和2年から令和5年度末までに退職したのは何人か。
②ごみ収集の民間委託は、町民の声を聞くべきだと思うが見解を。

答 ①3名。
②今後、検討の結果、実施することが固まれば、議会へ説明の上、パブリックコメントを実施することとしている。

南海巨大地震に備えた対策について

適正に備蓄を進めていきたい

問 徳島県は南海トラフ地震とともに中央構造線による直下型地震も想定しなければなりません。

- ①地域の人口に見合った避難所と収容人数などは。
②東部地域避難所を検討するとの答弁。その後検討状況は。

(表1)

藍住町指定避難所

1	藍住中学校
2	藍住東中学校
3	藍住東小学校
4	藍住西小学校
5	藍住南小学校
6	藍住北小学校
7	藍住町民体育館

答 ①避難所(表1)。合計の収容可能人数は9124人。
②設置箇所について検討を重ねており、具体的に決まり次第、議会に報告できるよう、鋭意、事務手続きを進めている。

マイナカードは任意加入・紙の保険証は残すこと

医療機関では、マイナ保険証による資格確認が基本となる

問 マイナ保険証の利用率は11・1%で9割の人が使っていません。

①藍住町のマイナ保険証の未加入者への町の対応は。

②マイナ保険証を保有していない方には、資格確認書が交付されるが、この点も周知してほしい。

答 ①マイナ保険証の登録利用方法、利用するメリットについて、周知を行っている。

②マイナ保険証やマイナンバーカードをお持ちでない方などについては交付済みの健康保険証の有効期限が切れる前に資格確認書を交付する。この資格確認書を医療機関等に提示することで、今までどおり診療を受けることができる。

もと き はるか 議員
元木 春香

9月議会会議録

徳島県不妊治療費助成事業について

令和7年度開始に向け、検討を進めている

問

県が令和6年度に不妊治療を受けた夫婦の経済的負担を軽減するため補助事業をはじめた。不妊治療が原因で離職や雇用形態の変更、最終的に諦める選択をした夫婦も少なくない。事業に関する通知文書はいつ送られたのか。

答

内容が確定した通知文書は、市町村には令和6年6月4日に送付された。

問

県から前向きに検討をと声がある一方で、本町が助成事業を実施していない理由は。

答

令和4年4月から体外受精などの基本治療は保険適用されているが、治療費として、どの程度の自己負担がかかっているのか、実態が把握できていない状況であった。県から9月に保険適用後の治療費について参考資料の提供があり、一定の積算根拠等が共有できたところである。



子どもの居場所

(自習スペース)について

町としての取り組み方を整理し進めていきたい

問

一般の方にも開放している図書館の自習スペースが好評だと伺っている。学習支援として活動しているボランティア団体が専門的な指導者を入れ、子どもを対象に自習スペースの場を設けたところ好評で席が空くのを待つ児童もいる。図書館2階に設置されている農業振興センターとの併用はできないかと声があるが令和5年度の稼働率は。

答

約22%。

問

民間団体の活動の支援や地域の方々との繋がりを深め、地域の一つの居場所として利用者と調整してみてもどうか。

答

農業振興センターの使用は設置の目的や利用規程などから、現状では、民間団体の活動場所としてお使いいただくことは難しいと考えている。

認可保育園の監査と 町立中央保育所の今後の 0歳児枠について

0歳児3人に保育士1人が配置基準

問

6月定例会で、多くの退職者があった保育所では、人間関係や給料、仕事量に関する退職理由については該当がなかったとの報告をいただいたが、どのような調査の仕方だったのか。

答

町内各認可保育所から、5年度末の退職者数と、それぞれの退職理由について聞き取りを行った。その中で一番退職者が多かった保育所へ改めて保育所内での問題等を確認した。

問

来年度からの中央保育所の0歳児の受入れ枠はあるのか。

答

0歳から3歳児を対象に募集することとしており、募集内容については今年度と変更はない。



くりしま かずよし 議員
栗島 和義



9月議会会議録

選挙投票所での投票支援について

投票支援、投票環境の向上に取り組んでいきたい

問 投票行動が困難な方などが必要な支援を記入し投票所においてサポートを受けられる投票支援カードを作成し導入すべきではないか。

答 他の自治体の例を参考にしながら検討していきたい。

問 障害のある選挙人が手をつないでいないと不安になる場合には、家族や付添人が寄り添えるよう配慮すべきでないか。

答 御家族や付添人が投票記載台を背に後ろ向きになり、手をつないでいただく等の対応をお願いすることとなる。

認知症の人に寄り添った地域社会の構築について

認知症サポーター養成を推進することが重要

問 認知症サポーター養成講座などの認知症に関する知識や理解を深める取組みを強化すべきでないか。

答 認知症サポーター養成の推進、認知症に対する正しい理解を深めるための取組を進めていく。

問 本人や家族等が診断後早い段階で同じ経験をした方々との情報共有や様々なアドバイスが受けられるようにインターネットによる交流も含めた認知症ピアサポート環境の整備が必要ではないか。

答 同じ経験をされた方々との情報共有やアドバイスが受けられる場として、認知症カフェがあるが、現在休止しているため、再開に向けての取組を進めていきたい。

問 認知症の人の尊厳ある暮らしを守るケア技法であるユマニチュードの普及に取り組むべきではないか。

答 まずは高齢者を支援する関係者が学びを深めることができる機会を設けられるよう進めていきたい。

問 認知症高齢者見守り事業におけるGPS端末の活用や高齢者見守り安心シール交付事業など今後どのように啓発推進していくのか。

答 ホームページへの掲載や各事業でのチラシの配布等を活用し、地域包括支援センターの相談窓口へとつなげていく。

防災対策について

被災地での教訓や、町民の皆様からのニーズなどを参考にしていきたい

問 本町の危機管理部局における女性職員の登用も必要ではないか。

答 女性が配置されない場合であっても女性の意見が反映できるような仕組みを構築し取り組んでいきたい。

問 女性の視点を取り入れた避難所運営へのバックアップ体制や女性・子供・高齢者などが必要とする備蓄品の現状と今後の方針は。

答 避難所運営マニュアルに、トイレや更衣室等に女性のプライバシーを確保することを明記したり、運営担当職員を男女同数にするなどを行っている。

女性・子供・高齢者が必要とする備蓄用品の状況

生理用品	3,428個
紙おむつ(子供用)	1,772枚
紙おむつ(大人用)	3,186枚
粉ミルク	130回分
液体ミルク	108本
哺乳瓶	63個
おかゆ	1,850食

議員研修報告

徳島県町村議会

女性議員連盟総会に参加して

藍住町議会議員 宮本 影子

7月31日午後1時より自治会館会議室において、徳島県町村議会女性議員連盟総会が開催され、参加してまいりました。

まず、大阪万博を盛り上げる為に県の万博推進課による研修が行われ、渡部課長と大前主任の2名から徳島県の取組についての説明がありました。

関西パビリオン内に展示される徳島県ゾーンのテーマは「藍色」「伝統工芸」「ヴァーチャル観光」そして「阿波踊り」とワクワク感をPRしていくことで現地に向いてほしいとのこと。質疑応答では主催者側から「遠足・修学旅行・町内会旅行等の実施をしてほしい」とのことですが、アクセス面でまだまだ課題が残っているようです。

次に総会に移り、今後の活動については次回のテーマとして、各議会が直面している「子育て支援」「高齢者

支援」の政策を話し合うことになりました。それぞれの町村の取組等を発表し、各町村が足並み揃え、共有を図ることができれば、町村民の方々と前に向かっていけるのではないかとの話になり予定時間を少し超過し終了しました。



藍住町議会議員研修報告

執行機関と議会との関係を見つめ直し、議会力の向上について考えるため、8月16日、議会議事堂委員会室1において、議員研修会を開催しました。

講師として元四国大学経営情報学部教授の本田利広氏をお迎えし、昨年12月に続いて「地方議会と二元代表制」をテーマに、「二元代表制とチーム議会～再度、議会及び議員の役割を考える～」と題し、御講演いただきました。



二元代表制の一翼を担う地方議会(議員)の責務や責任、これからの地方議員に求められることなどについて、改めて確認するとともに、チーム議会については、先進的な取組事例を交えながら、詳しく説明をしていただきました。

今回の研修で学んだことをいかし、町民の皆様から信頼され、必要とされる議会を目指して、全議員が心をつなげて議会活動、議員活動に取り組んでいきたいと考えています。

普通救命講習 受講の様子



上勝町議会 デジタル推進特別委員会 行政視察 来町

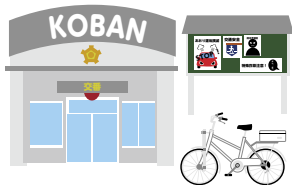


令和6年度四国四県町村長・議長大会

9月24日、四国四県町村長・議長大会が愛媛県で開催され、本町議会から米本議長が出席しました。

大会では上程された6議案と決議、特別決議、共同アピールなどが審議され、いずれも原案のとおり決定されました。

大会終了後、俳優・武道家の藤岡弘、氏と長女の天翔愛氏、ラジオパーソナリティーの宮崎コウ氏による「大人が変われば子供も変わる」～世界を旅して知った日本の未来～と題した講演が行われました。



10月1日より運用が開始された「藍住町交番」の内覧会が、9月20日に行われ、本町議会から12名が参加しました。
町役場の敷地内に新設された同交番は藍住町東交番と西交番を統合した県内最大規模の交番です。

交番内覧会



定例会案内

本会議を傍聴しませんか

次の定例会は12月です。

定例会日程や議会だよりについてはホームページに掲載しています。

次号は2月に発行します。

詳しくは議会事務局まで

お問い合わせ ● 議会事務局 ☎ (088) 637-3127

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。
議会や町政・議会だよりに関する御意見をお寄せください。

投稿規定

- ① 住所・氏名・電話番号を明記。
 - ② 掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
 - ③ 字数は500字以内。
 - ④ 投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。
- ※ 郵送またはメールによる投稿をお待ちしています。
議会事務局 E-mail:gikai@ aizumi.i-tokushima.jp

藍住町議会夏休み絵画コンクール入賞者

“応募総数168作品”

たくさんの御応募ありがとうございました

最優秀賞

※最優秀賞作品は表紙に掲載しております

優秀賞

入賞



藍住東小学校 5年 佐藤 繁



藍住西小学校 1年 岡本 鈴叶



藍住西小学校 3年 福島 和香



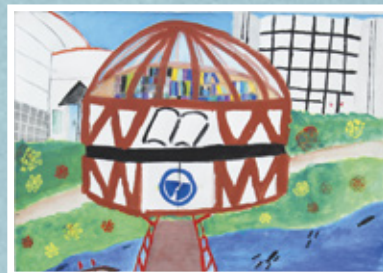
藍住西小学校 5年 藤本 莉愛来



藍住南小学校 3年 森 芽依



藍住南小学校 6年 林 将生



藍住東中学校 1年 阪東 真生

藍住町議会夏休み絵画コンクールに作品を御応募いただいた小・中学生の皆さん、素晴らしい作品をありがとうございました。

そして、数多くの優れた作品の中から入賞された皆さん、誠におめでとうございます。

本町の小・中学校から168作品が寄せられました。11月18日から翌年1月10日まで(休庁日を除く、午前9時から午後5時まで)の期間、本町議会議事堂に全作品を展示させていただきます。ぜひ、御覧いただければと存じます。

結びに、コンクールを開催するにあたり、御指導、御協力を頂きました全ての方々に対し深く感謝申し上げます。

藍住町議会議長 米本 義博

